

4 ウイルスの環境での生存、環境次第で長期生存

2020年9月2日(水)配信毎日新聞社、専門誌「ランセット・マイクロブ」より
環境中で感染力を失うまでの期間 室温22度、湿度約65%

印刷紙、ティッシュペーパー 3時間
加工木材、布 2日
ガラス、紙幣 4日
ステンレス、プラスチック 7日
サージカルマスクの外側表面 7日以上

トイレは非常に危険

「ダイヤモンド・プリンセス」では一番多かったのは浴室内のトイレ床で長期に生存していた

温度の影響 培養液中のウイルスの感染力

気温4度 14日後までほとんど変化しなかった

22度 14日後、37度 2日後、56度 30分後、70度5分後に感染力を失う

注 以上は外国の文献によるものです。追試はされていません

私はこれほどの差はなく、また必ずしも「触れるところ全てを消毒」の必要はないと考えています。湿式清掃(ふき取り)でも十分効果があることは他の事例で証明されています。

・またコロナウイルスは亜熱帯程度の気温やクーラーのあるような環境では気温による死滅は期待できません。但し、洗濯後の乾燥器はかなり有効かもしれませぬ

・微生物全般に湿度が長期に保たれるところでは生存が長引きます

銅の殺菌効果 2020年3月の米国立保健研究所(NIH)

銅の表面に付着したコロナウイルスは4時間後までに死滅

国内メーカー第一精工舎(銅を混ぜたプラスチック素材、フラッパー作成)

電車のつり革、買い物カートの取っ手のカバー、銀行向け小銭トレー

他のメーカー 銅繊維を編み込んだマスク

2014年に開院した北里大学新病院 病棟などのドアノブに銅合金素材採用

柿渋(柿タンニン)のウイルスへの効果

2020/9/16 朝日新聞 奈良県立医科大学の研究

実験装置内で唾液、ウイルス、柿渋を混

→感染力を持つウイルス数 1万分の1以下に減少

柿渋の濃度が重要、一定以下に希釈すると効果なくなる

詳細は不明

消毒薬

手指：市販の多くの消毒薬が有効です。80%エタノール(70%でも有効とする意見あり)、塩化ベンザルコニウム、グルコン酸クロルヘキシジン、ヨード剤など

手指に関しては洗浄が有効であり安全です。消毒剤は臨時の代用です

環境：次亜塩素酸ナトリウム(金属腐食性あり、有機物がついていると効果減)

衣類 0.1%液 30分浸潤、食器水洗い後 0.02%5分以上浸潤

家庭用洗剤：界面活性剤を有する洗剤は食器にも家庭環境にも有効です

(有効性が確認された界面活性剤と濃度 経済産業省 5月22日)

直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム(0.1%以上)

アルキルグリコシド(0.1%以上)

アルキルアミノオキシド(0.05%以上)

塩化ベンザルコニウム(0.05%以上)

ポリオキシエチレンアルキルエーテル(0.2%以上)

製品の成分名を確認して使用してください